

巻頭言

支部長 新屋 保則

皆さん今日は…

新型コロナウイルスの変異型が猛威を奮っておりますが、皆さんにはお変わりございませんか。

本日 4 月 25 日日曜日ですが、第 123 回運営委員会を開催いたしました。前回の運営委員会は書面開催で半年ぶりの対面での運営委員会でした。そして、今回も Zoom を利用して参加する運営委員（帯広支会 2 名）もあり、私自身 Zoom を利用した会議に立ち会うのは初めてで、コロナ禍での会議には大変有効であることを実感しました。

本日の運営委員会は 6 月に開催する北海道支部総会の運営方法を中心に協議させていただきました。その結果、事務局提案のとおり総会部分は書面開催とし、講演会・交流会等は、Zoom を利用したオンラインで行うことで決定しました。会員のみなさまには、是非オンラインでの講演会・交流会にご参加されることを願っています（本誌に案内があります）。

昨年 12 月本部の地域間格差に関する研究会で「重度訪問介護支給の地域間格差に関するアンケート」を会員 1,719 名の患者家族の皆様にお願いし、結果、有効回答数は 533 件(回収率：31%)であったとの報告を受けています。また、2 月 13 日土曜日「介護の充実を目指すオンライン・シンポジウム」がオンラインで開催され、その様子が YouTube で視聴できるようになっています。北海道支部からは山田委員が「ALS と共に ～俺流の日常生活～」で発表しました。6 月の支部総会講演会でも講師として「快適な生活を求めて始めた重度訪問介護事業所…」の題目で講演いただくことになっています。

本日 25 日から 4 都府県に緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛、飲食店の繰り上げ営業、アルコールの提供禁止等社会生活に制限が係るようになります。また、北海道札幌市においても「まん延防止等重点措置」も検討されています。

どうぞ、皆様にはくれぐれもお体を大切にご自愛くださいませ。